

研究実施のお知らせ

研究課題名:甲状腺腫瘍の多角的プロファイリング

研究期間:仙台市立病院倫理委員会承認後～令和12年9月30日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月30日施行)に基づき、匿名化された既存試料および既存情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

1999年以降に当院で病理診断、病理解剖を受けた甲状腺髄様癌をはじめとする甲状腺疾患を有する患者さん。

【研究の目的と意義】

甲状腺髄様癌をはじめとした甲状腺腫瘍について、腫瘍の発生や進展を食い止める治療標的を見出し、予防や早期治療のアプローチの開発を目指していきます。

【研究の方法】

手術検体、生検検体、病理解剖の検体を用いて、2次元、3次元的な形態学的な評価、腫瘍や組織の環境や免疫に関わるマーカーの免疫組織化学による染色パターン、次世代シーケンスを用いた遺伝子解析による解析データ等と、臨床情報を比較、関連させることにより、新たな治療標的の発見や治療戦略の構築を目指します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

病理組織標本(生検、手術検体、剖検)、血液等の既存試料および診療録に記録された診療情報(病歴、治療歴、家族歴、検査所見等)を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去の試料および診療録を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【利益相反の状況】

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたくうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

【研究の実施体制】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者： 東北大学 室山 佑希、鈴木 貴

研究参加施設

仙台市立病院 渋谷 里絵

東北医科薬科大学 藤島 史喜

大崎市民病院 坂元 和宏

岩手県立磐井病院 長沼 廣

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

【問合せ先】

仙台市立病院 病理診断科

科部長 渋谷 里絵 (当院の研究責任者)

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話:022-308-7111(代表)